

行歯会だより (第7号)

2005年12月 (毎月発行)

(行歯会＝全国行政歯科技術職連絡会)

●理事のひとり言 (その5)

市原市保健センター(歯科衛生士)

高澤 みどり



行歯会の皆様、こんにちは。関東Iブロックの高澤です。関東Iとは、栃木・群馬・茨城・千葉の4県からなるブロックです。行歯会だより第4号で会員数が300名を突破し、歯科技術職員の約3分の1がこの会に参加しているとの報告がありましたが、関東Iブロックは、中国・四国ブロックに次いで第2位の加入率だそうです。理事にノルマはありませんが、うれしいかぎりです。

4県の中でも、おそらく割合的に多く占めるのは、千葉県です。千葉県には、歯科医師2名、歯科衛生士は30名、市町村に76名配置されています。4月1日現在の市町村数は、77市町村だったので、4割近くの市町村に歯科衛生士が配置されています。県に1名おりますので、常勤歯科衛生士数77名は、東京23区を除けば全国一だと思われま

す。千葉県は、温暖な気候で大きな自然災害も少なく、住むにはいいところ。きびしい環境で育っていない独特の風土が、地域歯科保健の場にもあらわれているようで、人数がそろっている割には・・・？ということのをこれ以上言われないうに、ちば組の皆様、この行歯会を足がかりにネットワークを広げていきましょう！

(そして、千葉県でいちばん12歳児のむし歯が少ないのは、実は歯科衛生士未設置市町村だ、ということはこの話にしましょう。)と、何だか自分の身内にエールを送ってしまったようですが、先日初めて県外の方か

ら行歯会の申込みをいただきました。桐生市の歯科衛生士さん、ありがとうございます。思わず、先日青山先生にお礼を言ったら、桐生は群馬県です、と言われてしまいました。大変失礼しました！！

ひとり言というよりは、とりとめもなく話しをしてきましたが、最近ふと思うのは、歯科界に2007年問題はない？ということです。

千葉県でも歯科衛生士数は横ばいこそあっても増員はきびしいです。むしろ今後は、減少することが懸念されます。私がやめたら常勤の補充はありなの？と思う今日この頃です。教員やエンジニアは、団塊の世代との入れ替わりの準備が進んでいるようですが、私たち行歯会の仲間が今後10年先には、世代交代があるのか、しゅ〜としぼんでしまっているのか本当に不安です。

「官」でやるべきこと「民」でできること、郵政問題や建築確認問題がとりざたされていますが、市町村合併、財政難そして指定管理者制度と、きびしい情勢が続いていく中で単に業務というルーチンワークをこなしていくだけでは、この弱小団体の生き残りはきびしいはず

です。「行歯会」は、他の職種にはない誇るべきネットワークだと思います。仕事を保健センター完結型にしないように、皆様の周りにも未加入の方がおりましたら、お声をかけてください。理事とは名ばかりで、多々至らぬ点があるとは思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

●新連載の紹介

毎月の『行歯会だより』はいかがでしょう？今後もメーリングリストと並行して、会員向けの楽しい話題や、役立つ情報を掲載していきたいと思っております。

そこで、年明けより「新連載」を企画しております。題して「地域紹介 わたしの街自慢！」です。このコーナーは、全国の行歯会の会員によるリレー連載(毎月)です。内容は、地元の自慢の名産品・観光スポットから、地域の特徴・特に力を入れて取り組んでいる歯科事業の紹介などを予定しています。日本全国に会員のいる行歯会ならではの企画だと思います。全国を旅した気分になれる、さらに他地域から学ぶ新しい事業のアイデアも満載という、お得なコーナーです。どうぞお楽しみに！

※ 原稿依頼がいきましたら、ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

● 事業紹介（隔月連載）

健康なごやプラン 21 の目標達成にむけて

柏木雅宣（名古屋市中保健所）

金森いづみ（名古屋市健康福祉局）



名古屋市は、健康増進法に基づき『健康なごやプラン 21』を平成 15 年 3 月に策定した。この計画の目標達成に向けては、歯科医師会を始めとする関係機関との連携を強化するとともに、保健所のスタッフ（歯科衛生士等）は、地域において自主活動グループへの支援や地域リーダーの育成など推進に努めてきたところである。平成 18 年度に予定されている中間評価を前に現在までの進捗状況を報告する。

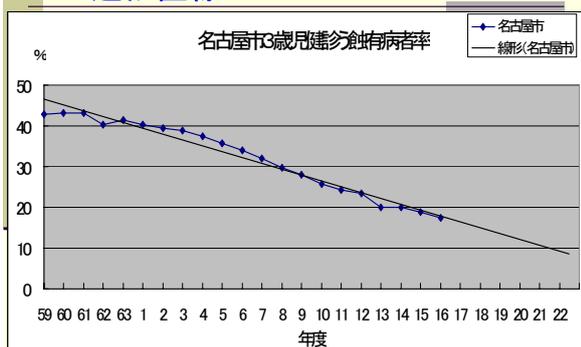
健康なごやプラン21の特徴

- 平成15年度から平成22年までの健康づくり計画（平成15年3月策定）
- 国が提示した目標項目のうち、市民が実践するために、日常生活において具体的に認識できる項目に絞って目標を選定
 - ・国の目標項目数：70（歯の健康11）
 - ・名古屋市の目標項目数：20（歯の健康3）
- 市民10,000人に対する「健康に関するアンケート調査」等を実施し、健康の現状に関する分析を十分に行った上で策定

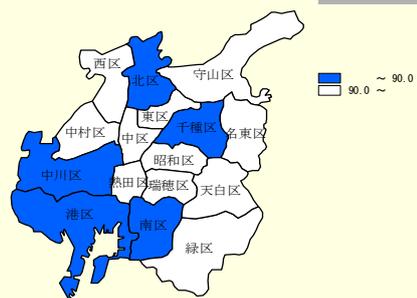
目標達成状況の把握と中間評価 平成18年度に実施（計画期間の中間年）

目標項目	目標	平成16年度
むし歯のない幼児の割合の増加	3歳	90%以上 82.44%
40歳及び50歳で全ての歯が自分の歯である人の割合の増加	40歳	75%以上 75.7%
	50歳	50%以上 53.5%
定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合の増加	55～64歳	65%以上 18年度市民アンケートを予定

3歳児う蝕有病者率の推移予想 近似直線



3歳児う蝕のない者の率 平成22年度予想値



3歳児のう蝕有病者率は、減少傾向にあり、これを年度毎に近似直線で引いたところ、平成22年度値において、う蝕のない幼児は10%以下と予測された。しかし、16区で予測すると、市南西部（中川・港・南区など）は、う蝕有病者率が高く、さらに強い働きかけが必要である。

お知らせ 名古屋市では、先進都市の取組みを参考に「幼稚園・保育所が行うフッ化物洗口マニュアル」及び「保護者向けリーフレット」を作成しました。本マニュアル等ご希望の方は下記へご連絡ください E-mail i.kanamori.hp@city.nagoya.lg.jp

〒460-8508 名古屋市健康福祉局健康増進課 金森いづみ TEL (052) 972-2629

● お知らせ

・ 国立保健医療科学院：臨床研修指導歯科医（保健所）養成コース

期日：H18. 2. 23(木) 2. 24(金) PM 1:00～PM 4:00

場所：国立保健医療科学院

定員：15名

内容：次年度から開始される歯科医師臨床研修における保健所での研修の内容について、その指導にあたる歯科医師に対して、指導に必要な知識および指導技術を習得し、有用な研修カリキュラムの立案を行う。

主な講師：安藤雄一、花田信弘、川南勝彦、毛利好孝、井下英二、日高勝美、平田創一郎

特記：12月中に詳しい予定を示して再案内する予定

・ 日本口腔衛生学会関東地方会 健康情報セミナー

期日：H17.12.11(日) 10:00～13:00

会場：東京医科歯科大学歯学部第1講義室

内容（講演）：

「最近の地域保健の動向について」

小椋正之（厚労省健康局総務課地域保健室・地域保健推進専門官）

「栄養所要量から食事摂取基準へー重視されるエビデンスと確率論ー」

横山徹爾（国立保健医療科学院技術評価部・主任研究官）

参加費：関東地方会会員は無料、非会員は500円

・ 次年度（2006年度）の学会の予定

-日本口腔衛生学会

日程：2006. 10. 6(金)～8(日)

場所：大阪市

-日本公衆衛生学会

日程：2006. 10. 25(水)～27(金)

場所：富山市

※ 現在、次年度公衆衛生学会のシンポジウムと教育講演について意見聴取を行っています。タイトルやシンポジスト・講演者について希望がありましたら、メール skagami@ms.toyama-mpu.ac.jp にて御連絡ください。期限は今月末です (<http://www.jsph.jp/>)。

「質問コーナー」新設の御連絡

メーリングリストでの発言は活発に行われていますが、日頃の疑問をメーリングリストで質問してみたいけれども気が引けて悶々としている方も多いのではないかと思います。

そのような方のために「行歯会だより」では、「質問コーナー」を新設することにしました。

手順は次に示すとおりです。

1. 質問がある方は、下記の「質問受け付け専用アドレス」宛に、質問の内容を明記して御連絡ください。

その際、必ず「記名（所属も明記）」をお願いいたします（匿名の質問は受けかねます）。

gyoushi_kai_q@yahoo.co.jp

2. その後、質問を然るべき方（アドバイザー等）に回答していただくように手配します。

ただし、質問者の名前は必ず伏せるようにします。

3. 回答ができましたら、「行歯会だより」の「質問コーナー」で回答者が答えるようにします。

その際、質問者は「匿名」とします。また、質問者への個別の回答は行いません。

以上ですが、早ければ次号から掲載したいと思いますので、奮って御連絡ください。